

小児科この一年

小児科医長 佐藤 敬

診療スタッフ

平成17年度は室野診療部長、佐藤医長、熊谷医員、太田研修医の不動のゴールデンカルテットで診療にあたりました。

外 来

一般外来は基本的に毎日午前・午後とも2診体制で行い、主に室野、佐藤、熊谷が担当しています。一ヶ月検診は熊谷、太田が担当して従来通り行っています。ワクチン外来は太田が担当し、今年度はこれまで行ってきた麻疹・風疹・水痘・おたふくかぜなどのワクチン接種に加え三種混合ワクチン・インフルエンザワクチン接種を予約制で行いました。専門外来は旭川医大小児科より出張していただき、神経外来（田中講師）、心臓外来（津田助手）内分泌外来（上田医師）をそれぞれ月1回行っております。

外来患者数は、平成17年12月累計で一日平均、平日が100名、土日祝祭日で16名でした。

病 棟

病棟は主に佐藤、熊谷、太田が診療にあたっています。平成17年度の入院患者数はのべ1066人で、一般小児809人、新生児257人で、昨年と比較すると全体で200人ほど入院例が増えています。一般小児では例年通り肺炎、胃腸炎、咽・扁桃炎、気管支炎の順で患者が多くみられ、新生児では低出生体重児54人、早産児が38人と例年より多く、また呼吸窮迫症候群・新生児一過性多呼吸症・エ

アリック・胎便吸引症候群などの呼吸障害が58人と昨年の約2倍となり、なかには人工呼吸管理を要する児もいたため、看護師共々多忙を極めた一年となりました。

カンファレンスなど

入院患者については月曜日から金曜日まで毎日（火・金曜日は午後一時半より、その他の曜日は夕方より）スタッフ全員でカンファレンスを行い、その後総回診を行っています。また翌月の各医師の予定、学会発表の予行会、小児科診療全般に関するカンファレンス、そして産婦人科とのハイリスク妊娠カンファレンスをそれぞれ月一回行っています。このほか市立土別総合病院小児科との合同の抄読会を行っています。

研究・教育活動

論文は1編、学会活動は3演題発表しました。

教育に関しましては名寄短大看護学科、上川北部医師会准看護学校で小児科の講義を室野・佐藤が担当して行っております。

おわりに

少子化が叫ばれる今日この頃ですが、近隣の分娩を取り扱う産科施設の減少により当院での新生児出生数が増加する等、まだまだ当院での小児科医の役割は重いものと考えます。今後も明日の日本を担う子供たちによりよい医療を提供できるよう責任を持って努力していききたいと思います。